



藤田 まこと

No. 31

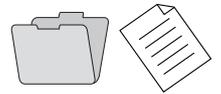
議会だより

二〇一八年六月

発行者 藤田 まこと
 事務所 青森市中央1丁目22-5
 青森市議会
 社民党控室
 TEL:017-734-5692
 FAX:017-722-8902
 印刷所 スタジオとまと
 TEL/FAX:017-761-2770

平成30年 第2回青森市議会定例会

議員定数を現在35名から32名に削減するための条例改正案 否決



反対理由：前回41名から35名に削減し、議員報酬についても削減した経過から、今回の35名から32名への削減は性急であり、多くの市民からの意見を議会に反映させるためには、議員定数ではなく議会費の見直しを行うべきと考えるから議案に反対をしました。

一般会計補正予算

① ふるさとのづくり支援事業

(9,061万円)

ふるさと財団の補助金を活用し、LED信号灯器着雪・凍結防止融雪ヒーターの開発と遠隔監視モニタリングシステムの開発を行う「株式会社アイ・シーシー・コンピュータシステム」に対し、開発経費の一部を補助するもの。

② 市営住宅滞納請求訴訟の経費

(946万円)

議案第百十五号 訴えの提起について

市営住宅の明渡し及び滞納使用料等の支払請求に係る訴訟終了までに係る法定費用、事務処理に要する経費及び報酬金について、債務負担行為の設定を行う。

改正条例 生活に関わる条例案(一部省略)

- 「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格について、教員免許状の更新を受けていない場合の取扱いを明確化する等のため、改正する。
- 介護保険サービス等や本市サービスセンター利用の際の本人負担割合を、特に所得の高い層を二割負担者から三割負担とする。
- 青森市りんご貯蔵選果施設及び青森市幸畑墓苑に利用料金制度を導入しようとするための改正。
※利用料金制度とは：施設の使用料を指定管理者の収入とできる制度
- 「高齢者の医療の確保に関する法律」の一部改正に伴い、住所地特例を受けて本市の国民健康保険の被保険者とされていた方で本市が加入する後期高齢者医療広域連合の被保険者となる方について、本市が後期高齢者医療の保険料を徴収すべき被保険者にするため等のための改正。
- 両日給食センターの解体工事に係り、契約金額の変更をする。(残杭の形状の違い)
旧青森市中央部学校給食共同調理場解体工事(約6592万円増)
旧青森市西部学校給食共同調理場解体工事(約2091万円減)

1. 計画的な道路整備(舗装・側溝)について

市長が行っているタウンミーティングでの生活環境整備の要望から、今年度の道路整備に関する予算は、前年度同規模の予算が確保されていますが、来年度の予算編成期に向けて予算を増額させるため質問した。

【答弁】 市が管理している市道の延長は約1,900kmであるが、整備されてからかなりの年数が経過している箇所が多く、舗装や側溝の老朽化が進んできており、町会及び市民から、改修等の要望が多く寄せられている。幹線道路は、平成26年度に実施した道路ストック総点検の結果を基に計画的に舗装の補修を実施しているが、住宅地内の生活道路の改修や整備に関しては、これまで各町会に地域の要望を取りまとめた上で、担当職員が要望箇所の現地調査を行ったうえで、

(1) 青森市が管理する市道であること

(2) 用地問題がないこと

(3) 緊急性や優先度が高いこと

といった要件を考慮しながら整備を進めている状況である。

生活道路の点検や状況把握には、多くの時間と費用を要することから、今後もこれまで同様、町会要望という形で、地域の状況をお知らせいただき、通行の安全確保といった観点から

緊急性や優先度を判断したうえで、限られた予算の範囲内で整備を進めて参りたいと考えている。

(裏面につづく)



一般質問

再質問① 道路ストック総点検の調査内容と結果について聞いた。

答弁 平成24年12月、中央自動車道笹子トンネルで天井板の落下により車両が下敷きになり多数の死傷者が出た事故を受け、国から平成25年2月、老朽化により危険が生じているトンネル・橋梁等をはじめ、道路等の社会インフラの総点検の通知があり、本市では平成26年度に、市道の主要な路線について、道路標識や道路照明灯といった道路附属物、擁壁等の道路構造物、舗装を点検したほか、橋梁については橋長2mから15m未満の全てについて点検を実施した結果、早急な補修が必要なもの

道路付属物・2,339基のうち支柱の腐食が著しいもの等により148基
道路構造物・171箇所のうちコンクリートの亀裂等によるもの2箇所

橋梁・358橋のうち橋を支えるコンクリートと橋本体の接続部劣化等によるもの4橋
道路舗装・362路線、延長370kmのうちひび割れ、わだち掘れ等により30路線、延長23kmという状況が判明したことから、平成27年度より補修工事に着手している。

再質問② 町会及び市民から、側溝の整備要望が多く寄せられていると思われるが、側溝の整備要望は毎年どのくらいの延長があるのか、また、その要望に対してどの程度対応できているのか聞いた。

答弁 昨年度は約8,000mの整備要望があり、その内訳としては継続要望の延長が5,000m、新規整備の延長が3,000mとなっている。

その要望に対して、昨年度の整備実績としては約2,200m程で、頂いた整備要望のすべてに対応できていない状況にあります。

すべての要望に対応するためには、多額の費用と期間を要することから大変難しい状況ではありますが、今後も限りある予算の中で着実に整備して参りたい。

2. 学校給食における安全対策について

前回は給食の2時間ルールの厳守を促

し、今回、食中毒が多発する時期になってきたので、子どもの安全確保のため、食中毒防止対策について聞いた。

答弁 青森市の学校給食施設では「学校給食衛生管理基準」・「大量調理施設衛生管理マニュアル」などに基づき安全対策を講じ、H29・8月には食中毒防止マニュアルを改定し、関係者に周知している。

施設の衛生管理のみならず、調理内容に応じて中心温度の計測・記録、生野菜の微生物調査や食器の残量でんぶん等を検査するなど、衛生管理を徹底している。

また、学校給食従事者については毎日、調理作業前に従事者やその家族に、腹痛、嘔吐、発熱等の症状がないか、点検し、月2回検便実施のほか、ノロウイルス等が疑われる場合、速やかに医療機関を受診させ、市の負担において高感度検査を実施している。

そのほか、他自治体等で食中毒等の事案が発生した時は、状況調査を行い、衛生管理の徹底及び食中毒について、各施設長や委託事業者、食材納入業者に対し注意喚起を促している。

学校では日頃から児童生徒に手洗いを励行など、教育委員会として学校給食の安全管理に努めている。

3. 観光ルートバス「ネプタン号」について

新たな観光戦略として、「ネプタン」のルートの実証実験が行われる事から、その内容について聞いた。

答弁 青森市シャトル・ルートバス、愛称「ねぶたん号」は、現在、新青森駅及び青森駅、フェリーターミナルなど市内の主要交通拠点や、主に西部の観光施設を結ぶ二次交通として運行している。

本年4月からは、増加する観光客の需要に対応するため、これまでの運行体制を2台体制から3台体制に強化し、運行便数も1日当たり13便から20便にしており、また、新幹線やフェリーとの乗り継ぎ時間を考慮した運行ダイヤの見直しを行うこと

により新青森駅東口において、乗り継ぎが便利な新幹線の本数は20本から33本に、また、フェリーターミナルにおいても、乗り継ぎが便利なフェリーの便数は6便から13便に大幅に増加し、ともに接続に係る利便性が著しく向上した。さらに、多言語対応として、車内での行き先案内についても、英語での音声案内を行う。

その結果、利用者数については大幅に増加している。

このたび新たに浅虫温泉や昭和太夫など、インバウンド・訪日外国人観光客の方々にも人気の高い観光施設を経由する東ルートを試験的に運行することにより、利用者の需要を把握し、二次交通としての利便性が高い運行方法を検討していく。

具体的には、7月21日から8月19日までの30日間、東ルートとして青森駅前から浅虫水族館前までの区間で1日当たり15便を、また、西ルートとして青森駅前から三内丸山遺跡前までの区間で1日当たり20便を運行していく。

また、今回の実証実験にあわせて、案内用リーフレットや東ルートと西ルート、全てのバス停の時刻表を多言語対応にします。

今後においては、今回の実証実験運行を踏まえ青森市シャトル・ルートバス「ねぶたん号」について、二次交通としてのさらなる利便性の向上に努めてまいりたいと考えています。

再質問① バス停は、どのような考え方で選定し、運行ルートの設定を行ったのか

再質問② 幸畑墓苑も市の観光地として、ネプタン号のルートとすべきではないか

答弁省略

4. 青森市民病院について

災害緊急時の青森市民病院の受入れ体制について聞いた。

答弁 青森市民病院は、災害発生時に、傷病者の受け入れや医療救護班の派遣等を行う災害拠点病院に指定されている。

災害時の患者の受入体制等については現

在、災害時には青森市民病院防災マニュアルに基づき対応することとしています。災害時の職員の動員体制の整備、患者の重症度を判定するトリアージの実施、待機スペースの確保などがあります。

また、停電時、非常用発電機及びコージェネレーションシステムにより、約6日間の電力を確保や医薬品は約2週間分を確保しています。

震災などの緊急時に非常時優先業務を開始するための計画である業務継続計画について、年度内の策定を目指している。

再質問 看護師の患者への接遇について

答弁省略

5. 学生からの政策提言について

大学生を対象とした、タウンミーティング等の開催など、学生の意見を聞く機会を設け、政治に関心を持ってもらうため聞いた。

答弁 本市のまちづくりにおいて、将来の担い手である学生をはじめとした若者から意見をいただくこと、また、参画していただくことは、大変重要であると考えている。

昨年10月には、市内の大学及び短期大学の6校で構成する青森市内高等教育連携機関と、「地域活性化の促進」魅力あるまちづくり「健康・福祉の増進」や「学びの推進」のために、包括的連携協定を締結した。

今後、これら地域課題の解決のため、学生との意見交換などの機会を設け、活発なまちづくり活動に繋がるよう、青森市内高等教育連携機関と調整を図っていく。

☆ご意見・ご要望をお待ちしています☆

社民党控室 藤田 まこと

TEL:017-734-5692 FAX:017-722-8902

ホームページ アドレス <http://www.fujita-makoto.jp/>